

## 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成29年度中間）

## 1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

## 評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」についての分析
- (3) 「Ⅲ 組織運営」についての分析
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」についての分析

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立から5年目になるが、ほとんどの地域で補助金に係る会計基礎や協議会の運営、コミュニティの向上に繋がる各種活動が自律的・継続的に行うことができている。</li> <li>・ 今後、さらなる民主的な運営や透明性のある会計、協議会としてのビジョンを明確にした各種活動の企画と実行を行っていきけるように、地域の成熟度やニーズに合致した支援を行っていききたい。</li> </ul>

## 2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

## 評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も継続的かつ柔軟な活動を行っていくうえで、自主財源の確保が重要であり、取り組みやすいC B/S Bのビジネス手法を、例示しながら拡げていきたい。</li> <li>・ 既存の地域団体だけでなく、企業や教育機関と協力しながら行えるように様々な場づくりを設けて地域とのマッチングを支援していききたい。また各地域が実施されているおもしろい取り組みについて地域同士の交流のなかで拡がるように支援していききたい。</li> <li>・ 国勢調査や各種統計データをもとに論理的な視点を地域活動に反映させることも重要であり、地域担当職員をはじめとした区役所職員に対して的確に助言できるように支援していききたい。</li> </ul>

## 3 事業の実施体制等

## 評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容  
 (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容  
 (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容  
 (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
A	<p>・地域づくりアドバイザーにはまちづくりに関するスキルを活かした役割を、地域協働担当・安全安心企画担当職員には地域活動協議会に関する要綱や補助金の適正執行に関する役割を、地域担当職員には担当課を横断して区役所の連携を活かした役割を担い、区役所職員が地域に身近な存在として支援体制をしいている。</p> <p>今後もそれぞれの役割をブラッシュアップしていき、体制に見合った支援内容の充実に努めていきたい。</p>

## 4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）（5つ以内）

## 評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）

評価	左記の理由
B	<p>・重点施策として地域づくりアドバイザーが中心となって取り組んでいる異次元交流ライブ、地域と大学連携、住民主体のプロジェクト実施、地活協の広報力向上それぞれが非常に重要な取り組みだと考えているが、それぞれの取り組みが交わることで大きな成果に繋がると考えており、地域づくりアドバイザーはもちろんのこと、区役所職員と十分な連携を行いながら進めていきたい。</p>

## 5 現時点での支援策（取組）の実施状況に対する区の評価及び意見

## 評価項目

- (1) 現時点での支援の実施状況  
 (2) 上記を受けた、年度後半の支援についての考え

評価	左記の理由
A	<p>・今年度の取り組みについては概ね順調に進捗していると思われる。</p> <p>地域づくりアドバイザーと地域との関わりは、柔軟かつニーズに応じて行っていることから、濃淡が出てくることは一時的な現象としては止むを得ないと考えているが、関わりの薄い他地域に対しても情報共有や提案については、連絡会等を活用して等しく機会を設けてほしい。</p> <p>地域づくりアドバイザーには、今後ますます多様化・複雑化するであろう地域の課題に対して自律した解決ができるよう地域・職員双方への支援策を提案してほしい。</p>

## 6 総合評価

評価	左記の理由
B	<p>・地域活動協議会として、これまで関わりの薄かった方達との連携や協働は大きな目標でありメリットを生み出すものである。こういった取り組みに前向きな方との連携をいっそう拡げてほしい。</p> <p>一方で、地域活動協議会の運営や補助金の適正執行については、監査等の意見をふまえ今一度振り返る時期でもある。職員との役割分担があるとはいえ、民主的で透明性のある協議会運営は自律・継続した活動を行うための土台になるため、地域へ赴いた際にはしっかりと伝えてほしい。</p> <p>まちづくりのスキルを持ち合わせた嘱託職員として、他の職員と議論を重ね、様々な知見を融合したより良い地域との協働を率先して進めてほしい。</p>

## (評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない